

3つのちから実現に向けての取り組み

みんなで育てる活動 (子どもを育てる)



子育てしやすい今治に

市役所ロビーへのキッズコーナー設置、市の主要施設におむつ交換所設置等、これまで子育てしやすい環境の整備について提言をしてまいりました。

金銭的支援だけでなく「子育て世代が交流できる場所の提供」、「地域での見守り活動の支援」、「一家一灯運動の普及」等、これからも安心して子育てできる環境整備、子どもをみんなで育てる活動を積極的に推進します。

人づくりはまちづくり！！
私たちの住むまちのこと
一緒に考えましょう！！



市役所ロビーに設置されたキッズコーナー

みんなで作る活動 (共生のまちづくり)



自分たちのまちは自分たちでつくる

今までと同じやり方を続けていけば財政が破綻することは目に見えています。

今治市においても「市民が共に起こすまちづくり条例」が制定されましたが、法規をいくら整備しても、市民が関心を持ち、参加できる環境を整えなければ意味がありません。

お金をかけなくてもまちづくりはできます。自分たちのまちは自分たちでつくる。「受け身から参加へ」みんなが自分たちの住む今治のまちづくりに気軽に参加できるよう、まずは「環境の整備」、「手作りイベントの支援」等、みんなでつくる活動を推進します。



全国若手市議会議員の会定時総会にて

みんなで考える活動 (情報の共有化)



広域的な視点が必要

IT技術が発達し、自治体も単独で行動していたのでは取り残されてしまうほど時の流れが加速度的に進んでいます。

今治市にとどまらず、全国的な活動を行う中で、他都市との連携も視野に大所高所からまちづくりを考えます。

同時にホームページでの情報発信、メルマガ、議会便りの発行、街頭演説、勉強会の開催等、選挙前だけではない日々の活動を充実させることで、市民と市政の距離を縮め、みなさんと一緒に情報を共有し、議論しながら「楽しいまち今治」をつくります。

これまでの議会質問総括

「みんなで育てる」取り組み

- 「不登校児童・生徒のケアについて」
- 「学校でのコンピュータの利用について」
- 「学校内外の危機管理について」
- 「市役所ロビーの有効的利活用について」
- 「市立図書館の指定管理者の指定について」(質疑)

「みんなで作る」、「みんなで考える」取り組み

- 「人事考課制度について」
- 「公用車の有効的利活用について」
- 「防災対策について」
- 「イベントの推進について」
- 「映画ホームスイート・ホーム2について」
- 「市長の各種団体への就任状況について」
- 「市職員の飲酒運転への対応について」
- 「市場化テストについて」
- 「自主防災組織について」
- 「今治地区工業用水について」
- 「市民が共に起こすまちづくり事業について」
- 「今治新都心開発事業の現状について」
- 「今治地区工業用水のその後について」

編集後記

原稿今回の議会便りには、作成した。印刷も、さきも、手配した。面談も、おこなった。少くも、おかげで、この一冊が、まとまってきた。二ヶ月間、お疲れ様でした。振り替えて、お礼の言葉を述べたい。この一冊が、まとまってきた。二ヶ月間、お疲れ様でした。振り替えて、お礼の言葉を述べたい。この一冊が、まとまってきた。二ヶ月間、お疲れ様でした。振り替えて、お礼の言葉を述べたい。

この一冊が、まとまってきた。二ヶ月間、お疲れ様でした。振り替えて、お礼の言葉を述べたい。この一冊が、まとまってきた。二ヶ月間、お疲れ様でした。振り替えて、お礼の言葉を述べたい。この一冊が、まとまってきた。二ヶ月間、お疲れ様でした。振り替えて、お礼の言葉を述べたい。

